

城峯

吉田中学校校歌

秩父の峯に おはようと 教えの庭の 窓ひらく
僕らは学ぶ 僕らは学ぶ ああ 吉田中学
やがては巣立つ この窓が 僕らの心のふるさとなる

学校教育目標
学び 鍛え 高め合う生徒
目指す学校像
吉田に学び、吉田を誇る 笑顔・感動・夢のある元氣な学校



令和2年8月1日 第5号棚版 秩父市立吉田中学校
ホームページ :<http://www.city-chichibu.ed.jp/yoshidu/>



何気ない日常のありがたさ



校長 板倉 邦弘

6月1日から再開した1学期も、あと数日で終業となり、8月6日から23日までの18日間が夏季休業日となります。例年ですと「長い夏休みを有効に使いましょう」という話をするのですが、今年の場合は「貴重な夏休みを大切にしましょう」という気持ちになります。延長された16日（授業日は11日）間、梅雨明けが遅かったとはいえ蒸し暑い日々を生徒も職員も乗り越えてきました。大きな事故等もなく、1学期の終わりが見えてきたことで正直ホッとしています。

学校が再開して、これまで気付かなかったいくつかのことに気付くことができました。その一つが「音」です。朝、登校してくる生徒達のあいさつの声、教室で言葉を交わす声、授業で聞こえてくる教員や生徒の声、お昼の放送の心地よいインストゥルメンタル、昼休みに校庭で遊ぶ生徒の声、ボールを蹴る音、走る足音、部活動の様々な音（柔剣道場から聞こえる剣道の竹刀の音、テニスボールを打つ音、体育館に響くドリブルの音、ブラスバンド部の楽器の音等々）、木曜日には神楽や龍勢の太鼓の響きなど、実に様々な音が学校にあるということ。そして例年だと当たり前すぎて気付かなかった「音」の癒やしを感じることができました。

また、今年は昼休みに校庭で遊ぶ生徒がたくさん見られます。学年・男女を問わず、サッカーやバレーボールをしたり、野球のようなことをしたり、鬼ごっこのようなことをしたり、校庭には生き生きとした生徒の顔と姿があふれています。そんな姿を見ていると、こちらもちろっとした気持ちになります。臨時休業中、外に出て遊びたくても遊べなかった反動かもしれませんが、「平和」を感じられるひとときです。何気ない日常が、どれほど貴重で幸せなことだったのかと今年ほど感じたことはありません。

6日からの夏季休業、約3ヶ月の臨時休業を経験しましたから、18日間はあっという間に感じるかも知れません。様々な作品展やコンクールも軒並み中止となったこともあり、例年と比べると宿題が少なくなっています。短い夏休みだからこそ、生徒の皆さんには、しっかり計画を立て、無駄のない生活を送って欲しいと思います。保護者や地域の皆様には、様々な場面・機会に生徒達を見守り、関わっていただけたらと思います。8月24日（月）から始まる2学期。まだまだ「with コロナ」の生活が続きます。休業中も検温・健康観察を継続し、「何気ない学校の日常」が再び始められることを願っています。